

授業概要

日本では、非正規雇用労働者の増加など働き方が多様化するなかで、経済的格差や貧困問題など、様々な社会問題が顕在化している。本講義では、社会政策の基礎的なテーマである雇用と社会保障について講義する。学生自らが関心のある社会保障政策について、新聞やインターネットで調べて発表する。現場で実際に発生する雇用と社会保障の問題を事例として紹介し、グループワークでのディスカッションを通して、自分自身で解決方法を探り、解決のための政策提言を論じる力を養う。

授業計画

第 1 回	序	社会政策の考え方	〔社会政策とは何か／「福祉国家」体制の原理と社会政策〕
第 2 回	序	社会政策の考え方	〔国家・地域・家族と社会政策／グローバル化と社会政策〕
第 3 回	I	賃金	〔賃金とは何か／日本の賃金決定／同一価値労働同一賃金の原則〕
第 4 回	II	労働時間	〔生活時間と労働時間／日本の労働時間制度／時間外労働の濫用〕
第 5 回	III	雇用・失業	〔失業の発生と現代日本の状況／日本型雇用と正社員／若者と雇用問題〕
第 6 回	IV	労使関係	〔なぜ、ブラック企業、ブラックバイトに怯えなくてはならないのか〕
第 7 回	V	社会保障	〔生活保護制度〕
第 8 回	V	社会保障	〔医療保障と医療保険制度／医療保険と保険者間格差／高齢者の医療保障〕
第 9 回	V	社会保障	〔公的介護保険の仕組み／公的介護保険の問題点と将来／公的年金の目的〕
第 10 回	VI	高齢社会	〔日本の高齢化の特徴／高齢社会の課題と社会政策／日本型福祉社会論〕
第 11 回	VI	高齢社会	〔高齢者福祉対策／高齢者雇用政策／サードセクターの重視〕
第 12 回	VII	男女平等	〔男女平等をめぐる視点／男女平等政策の歴史的変遷〕
第 13 回	VII	男女平等	〔貧困と女性／家庭生活と女性：結婚・妊娠・子育て・介護〕
第 14 回	VIII	外国人労働者	〔外国人労働者問題とは何か／国際労働力移動の動向〕
第 15 回	VIII	外国人労働者	〔外国人看護師・介護福祉士／「定住化」と外国人住民問題〕
第 16 回		期末試験	

到達目標

1. 社会政策の考え方と歴史的展開を学び、その概要を説明できる。
2. 日本の雇用政策の現状を理解し、その課題の特徴を見だし、課題解決の政策提言ができる。
3. 社会保障政策で扱われる生活保護・医療・年金制度の現状と課題を理解し説明できる。
4. 少子高齢社会における高齢者・女性に関する課題を整理し、その概要を説明することができる。
5. 日本における外国人労働者問題の現状を理解し、その概要を説明できる。

履修上の注意

活発なディスカッションや授業中の積極的な発言を期待する。授業内容について疑問点があれば授業中だけでなく、後に残さずに授業終了後にも質問すること。遅刻や私語といった他の履修生の迷惑になる行為については、成績評価を減点する。

予習・復習

予習としては、授業で学習する内容について指定した教科書をよく読んでおくこと。また、授業後はノートや配付した資料に目を通し、学習した内容の復習をすること。

評価方法

授業で課す課題と授業態度（50%）、期末試験もしくは期末レポート（50%）を評価対象とする。

テキスト

- ・教科書名：『よくわかる社会政策[第3版]』
- ・著者名：石畑良太郎・牧野富夫・伍賀一道
- ・出版社名：ミネルヴァ書房
- ・出版年（ISBN）：9784623085620